

# 令和5年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」第2回総会

日 時：令和6年2月16日（金）14:30～16:30  
場 所：アスト津 4階 アストホール

## 1 開会あいさつ

## 2 新市町長紹介

## 3 報告事項

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| (1) 令和6年能登半島地震に係る支援について    | 防災対策部   |
| (2) 公共事業予算の確保について          | 県土整備部   |
| (3) 2025年大阪・関西万博に向けた取組について | 雇用経済部   |
| (4) 沖縄「三重の塔」における戦没者慰霊式について | 子ども・福祉部 |
| (5) 三重県立みえこどもの城について        | 子ども・福祉部 |

## 4 意見交換

- (1) 三重県における観光の課題解決に向けた一体となった取り組みについて
- (2) 専門職の人材確保について
- (3) ジェンダーギャップの解消の推進について

## 5 閉会あいさつ

### 配付資料

- 【資料1】 令和6年能登半島地震に係る支援について
- 【資料2】 2025年大阪・関西万博に向けた取組について
- 【資料3】 沖縄「三重の塔」における戦没者慰霊式について
- 【資料4】 三重県立みえこどもの城について
- 【資料5】 意見交換資料
- 【別紙】 公共事業予算の確保について



令和5年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」名簿

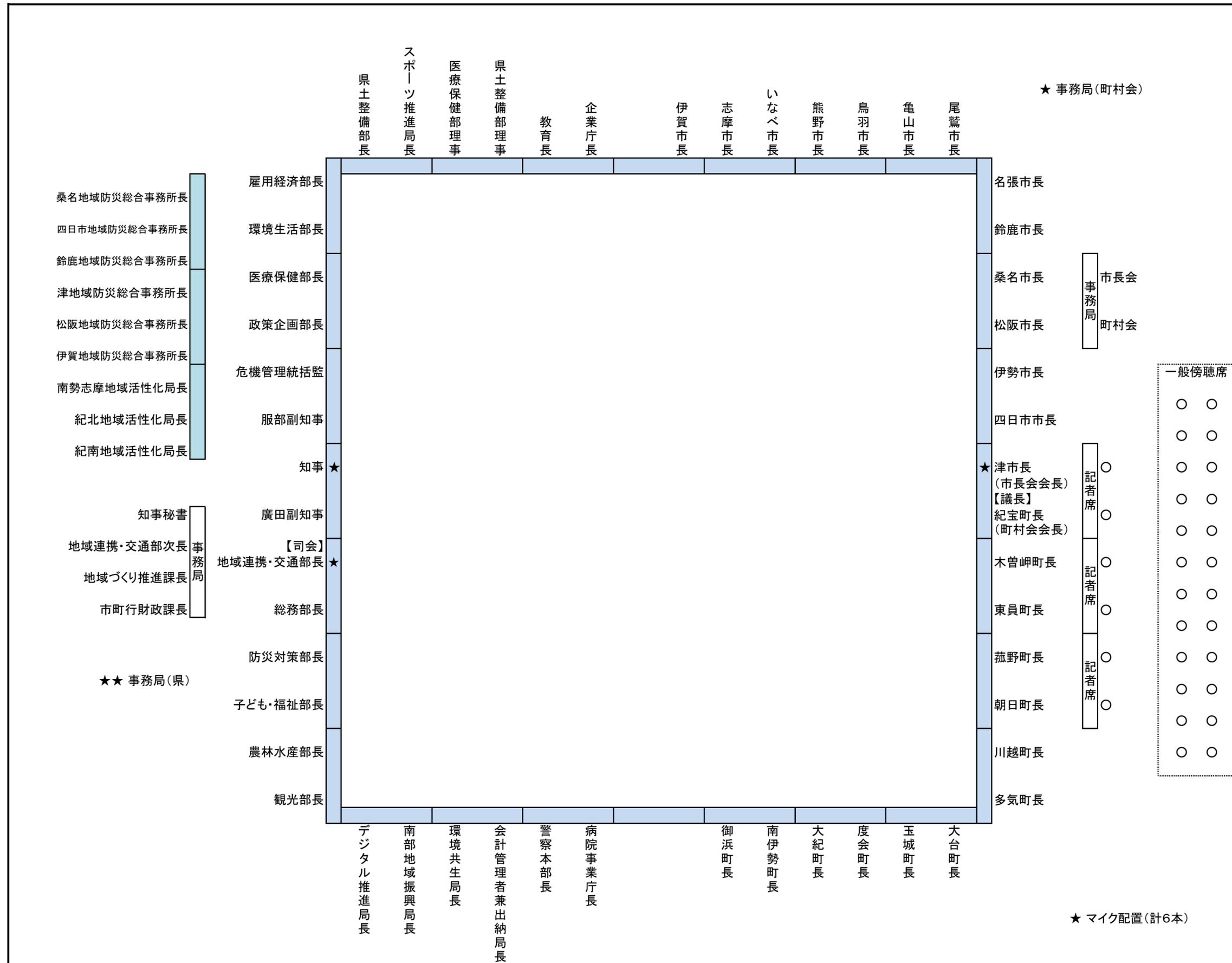
令和6年2月16日

会長	三重県知事	一見勝之
副会長	三重県市長会会長	前葉泰幸
	三重県町村会会長	西田健
	三重県副知事	廣田恵子
委員 (市町)	津市長	前葉泰幸
	四日市市長	森智広
	伊勢市長	鈴木健一
	松阪市長	竹上真人
	桑名市長	伊藤徳宇
	鈴鹿市長	末松則子
	名張市長	北川裕之
	尾鷲市長	加藤千速
	亀山市長	櫻井義之
	鳥羽市長	中村欣一郎
	熊野市長	河上敢二
	いなべ市長	日沖靖
	志摩市長	橋爪政吉
	伊賀市長	岡本栄
	木曾岬町長	加藤隆
	東員町長	水谷俊郎
	菰野町長	諸岡高幸
	朝日町長	矢野純男
	川越町長	城田政幸
	多気町長	久保行央
	明和町長	
	大台町長	大森正信
	玉城町長	辻村修一
	度会町長	中村忠彦
	大紀町長	服部吉人
	南伊勢町長	上村久仁
	紀北町長	尾上壽一
	御浜町長	大畑覚
	紀宝町長	西田健

委員 (県)	知事	一見勝之
	副知事	廣田恵子
	副知事	服部浩
	危機管理統括監	野呂幸利
	総務部長	更屋英洋
	デジタル推進局長	松下功一
	政策企画部長	後田和也
	地域連携・交通部長	清水英彦
	スポーツ推進局長	山川晴久
	南部地域振興局長	下田二一
	防災対策部長	山本英樹
	医療保健部長	小倉康彦
	医長保健部理事	松浦元哉
	子ども・福祉部長	中村徳久
	環境生活部長	竹内康雄
	環境共生局長	枘屋典子
	農林水産部長	中野敦子
	雇用経済部長	小見山幸弘
	観光部長	増田行信
	県土整備部長	若尾将徳
	県土整備部理事	佐竹元宏
	会計管理者兼出納局長	佐脇優子
	企業庁長	山口武美
	病院事業庁長	河合良之
	教育長	福永和伸
	警察本部長	難波正樹
	桑名地域防災総合事務所長	杉野京太
	四日市地域防災総合事務所長	関泰弘
	鈴鹿地域防災総合事務所長	井爪宏明
	津地域防災総合事務所長	枘屋眞
松阪地域防災総合事務所長	川北敏	
伊賀地域防災総合事務所長	辻上浩司	
南勢志摩地域活性化局長	阪靖之	
紀北地域活性化局長	寺本久彦	
紀南地域活性化局長	野村廉士	

令和5年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会 座席表

令和6年2月16日(金)14:30～ アストホール





### カウンターパート支援による活動

- ・総括支援チーム（県・市町）  
災害対策本部会議運営、各種対応への助言
- ・現地連絡所総合調整窓口（県）  
輪島市カウンターパート支援団体間の調整
- ・避難所支援（県・市町）  
各避難所間の運営調整、避難所運営支援



被災した輪島市役所



災害対策本部会議



現地連絡所総合調整窓口



避難所（門前中学校）

### 国等からの要請による活動

DMAT、DPAT、DHEAT、日赤三重県支部救護班、三重県薬剤師会、三重県看護師会、保健師チーム、学校支援チーム、緊急消防援助隊、応急危険度判定士、三重県清掃事業連合会、漁港被害調査、下水道管渠被害調査、給水車支援、特別自動車警ら部隊（三重県警察）

### 中部9県1市による活動（石川県庁）

- ・情報連絡員（県）  
石川県災害対策本部での支援ニーズの把握  
石川県、総務省、全国知事会、関西広域連合と被災市町支援体制の調整



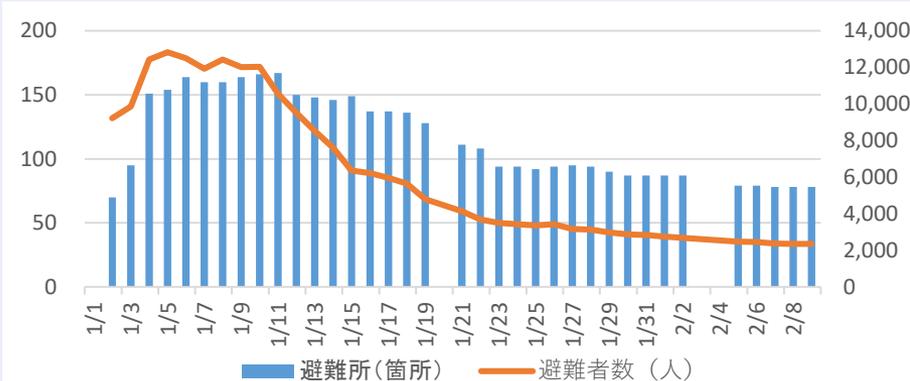
災害対策本部会議

### その他の県の支援

義援金の受付、ふるさと納税の代行受付、職員からの義援金被災者への県営住宅の提供  
みえ災害ボランティアセンターの設置

**県、市町等を含わせて  
延べ7, 603人が活動  
※令和6年2月9日時点**

## ● 輪島市内 避難所



出典) (石川県) 災害対策本部員会議 被害等の状況について  
(1/20,2/3,2/4は災害対策本部員会議が開催されなかったため未公表)

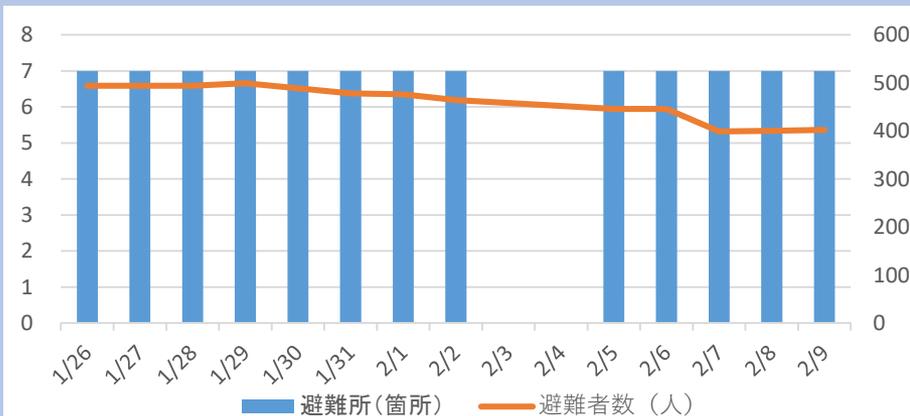
避難所：78箇所

避難者数：2,357人 ※2/9時点  
(避難者数(最大)12,834人(1/5))

### 避難所支援

三重県、東京都、大阪府、徳島県、川崎市、  
大阪市、堺市、岐阜県、長野県、愛媛県

## ● 輪島市門前地区 三重県担当避難所



## 大阪・関西万博に向けた取組について

### 1. 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）について

大阪・関西万博は、ポストコロナの時代に求められる社会像を世界と共に提示し、リアルとバーチャルを融合させた新しい博覧会をめざして、55年ぶりに大阪市で開催されます。

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

開催期間：令和7年4月13日（日）～10月13日（月） 184日間

場所：大阪市此花区夢洲

想定来場者数：約2,820万人

経済波及効果：2兆円

### 2. 三重県の取組について

#### (1) 関西パビリオンへの出展

大阪・関西万博の好機を捉え、三重県の魅力を強力に発信し、認知度向上や観光誘客につなげるため、関西パビリオン内に三重県ブース（仮称）を出展します。

テーマ：日本のこころの原点～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

#### 展示構成：

##### ①【出会う】時のトンネル

「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開し、29市町の自然や観光地など美しい映像を放映。

##### ②【知る】美し国みえ体験広場

県内5つのエリアごとに食、産業などの映像を展開するとともに、各エリアの特産品等を五感を使って体験できる展示を実施。

熊野古道など特集テーマに合わせた映像の放映や期間限定の特別展示を実施するとともに、市町の魅力を伝える体験コンテンツを来場者に提供。

##### ③【旅立つ】ナビゲーションエリア

コンシェルジュを配置し、来場者の興味関心に応じて観光情報等を提供。

#### スケジュール：

- ・市町担当者と意見交換会・説明会を実施。（令和5年8月、12月 計8回）
- ・美し国みえ体験広場における体験コンテンツについて、参加意向調査を実施中。
- ・調査結果を踏まえ、年度内に参加市町、日時、内容を決定する予定。

#### (2) 万博会場における催事の実施

万博会場内の2か所（屋外イベント広場、関西パビリオン多目的エリア）において、三重県の魅力を発信する催事を実施します。

##### ①屋外イベント広場

来場者が増加する会期終盤の令和7年9月上中旬（1日）に市町等と連携して、「祭り」や「食」をテーマとした催事を実施します。

## ②関西パビリオン多目的エリア

令和7年7月、9月に各7日間の予定で県庁各部署や市町等と連携した催事を実施します。

**スケジュール**：いずれも令和6年度に市町等へ参加意向調査

### (3) 万博会場における校外学習等の支援

子どもたちが万博会場でSDGsや世界の文化、最先端の技術などについて学ぶ校外学習等を支援します。

**対象**：公立の小・中・高校（特別支援学校含む）

**支援内容**：学校等の校外学習や修学旅行における入場チケット代を支援

**スケジュール**：令和6年5月以降に学校へ意向調査

令和6年秋に県から万博協会へ申込み

### (4) 期間限定の関西圏情報発信拠点の設置

大阪・関西万博に向けて、関西圏における効果的なPR方法を検証するため、大阪市内に期間限定の情報発信拠点を設置し、「食」や「観光」などの三重県の魅力発信に取り組んでいます。

令和5年度は、キタ（梅田）とミナミ（難波）に2か所設置し、物産や観光に対するニーズや傾向の把握を行いました。キタ（梅田）では、観光PRブースやチラシ配布などを市町と連携して実施しました。

【ミナミ】 日時：令和5年11月17日（金）～11月30日（木）

場所：PivotBASE@Tonbori

【キタ】 日時：令和6年1月12日（金）～1月28日（日）

場所：ホワイトィうめだ#CHIKAMISE、泉の広場

令和5年度の効果検証を踏まえて、令和6年度も市町等と連携して取り組んでいきます。

## 3. 今後の取組について

引き続き、市町の皆様の声を丁寧にお聞きしながら、万博の開催に向けて計画的に準備を進めていきます。

令和6年度 三重県ブース展示製作・工事、運営準備  
自治体参加催事等の検討  
期間限定情報発信拠点の設置

# 大阪・関西万博に向けた取組について

## 1. 関西パビリオンへの出展

- 大阪・関西万博の好機を捉え、三重県の魅力を強力に発信し、認知度向上や観光誘客につなげるため、関西パビリオンに出展します。
- テーマ：日本のこころの原点～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

### ①【出会う】時のトンネル



- 「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開
- 29市町の自然や観光地など美しい映像を放映**

### ②【知る】美し国みえ体験広場

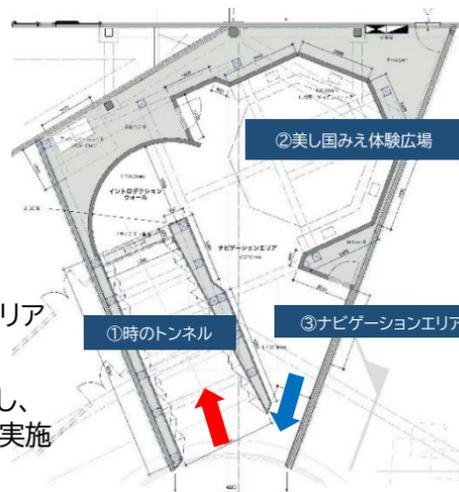


- 県内5つのエリアごとに映像を投影するとともに、各エリアの特産品等を五感を使って体験できる展示を実施
- 「熊野古道」や「歴史・文化」など特集テーマ期間を設定し、テーマに合わせた映像の放映や期間限定の特別展示を実施
- 市町の魅力を伝える体験コンテンツを来場者に提供**

### ③【旅立つ】ナビゲーションエリア



- コンシェルジュを配置し、来場者の興味関心に応じて情報を提供
- デジタルマップから観光情報の閲覧やQRコードでの情報を取得



## 2. 万博会場における催事の実施

○万博会場内の2か所において、三重県の魅力を発信する催事を実施

### ①屋外イベント広場

9月上中旬(1日)に、市町等と連携して三重の「祭り」や「食・食文化」をテーマとした催事を実施

### ②関西パビリオン多目的エリア

7月、9月の各7日間に、県庁各部局や市町等と連携した催事を実施



①屋外イベント広場



②関西パビリオン多目的エリア

### 屋外イベント広場



## 3. 万博における校外学習等の支援

○県内の子どもたちが万博会場でSDGsや世界の文化、最先端の技術などについて学ぶ校外学習等に対して支援します。

対象：公私立の小・中・高校等(特別支援学校含む)

支援内容：学校等での校外学習や修学旅行における入場チケット代を支援

スケジュール：令和6年5月以降に学校へ意向調査  
令和6年秋に万博協会へ申込み



## 沖縄「三重の塔」における戦没者慰霊式について

県では、先の大戦で犠牲になられた県民を慰霊するため、11月に沖縄県営平和記念公園に設置する「三重の塔」において慰霊式を開催しています。

令和5年11月6日に開催した慰霊式には、初めて複数の市長、町長にご臨席をいただきました。

令和6年度は、11月中旬に開催できるよう日程調整しており、ご臨席についてご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## &lt; 沖縄「三重の塔」 &gt;

沖縄県営平和記念公園内の「三重の塔」は、昭和40年6月に建立され、沖縄戦をはじめ先の大戦で尊い命を落とされた三重県出身の戦没者約53,000柱（沖縄戦戦没者2,600柱、南方諸地域31,300柱、その他地域19,100柱）を祀っています。

これまで慰霊式の開催は、一般財団法人三重県遺族会が主催していましたが、令和4年度から、県が主催しています。





## 三重県立みえこどもの城について

## 1 施設概要

三重県立みえこどもの城は、遊びや体験を通して子どもの成長を促すことのできる大型児童館として、平成元年度に開館以来、地域の関係者と連携しながら各種企画・展示や体験事業など、子どもに笑顔とわくわく感を届け、家族が元気になる取組を行っています。

特に、令和4年度にリニューアルしたドームシアターは、県内最大の22mドームや最新の機器により本物に近い星空を体験できるものとなっており、団体利用の際には、星座に関する学習番組や幼児向け番組なども提供していることから、未就学児や小学校等の遠足、理科学習などにご利用いただいているところです。

## 2 現状と課題

みえこどもの城は、中南勢地域にお住まいの方を中心に、年間20万人以上の利用をいただき、その取組にも高い評価が寄せられています。

今後は、県内各地域のさらに多くの方にご利用いただけるよう、取組内容も合わせた一層の認知度向上を図っていく必要があると考えています。

## 3 お願い

みえこどもの城は、子どもがさまざまな物事に興味・関心を持てるような体験をより広く提供することで、子ども一人ひとりの未来への希望や可能性を広げるきっかけとなることをめざしています。

各市町におかれましては、地域の皆様への周知についてご協力をいただくとともに小学校や保育所・幼稚園などの遠足、体験学習等の場として積極的にご活用くださいますようお願いいたします。



リニューアルしたドームシアター



科学体験イベントの様子



意見交換

(1) 三重県における観光の課題解決に向けた一体となった取り組みについて

(2) 専門職の人材確保について

(3) ジェンダーギャップの解消の推進について

意見交換の趣旨

知事ほか県幹部職員と県内市町長が、全県的な課題について自由に意見交換することにより、喫緊の課題における現状認識及び課題把握、今後の方向性などの共通認識を醸成させるとともに、その場で頂いたご意見やご提言等については、今後の政策の展開に生かしていくものとします。



「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会  
意見交換テーマシート

団体名・部局課名：伊勢市 産業観光部 観光振興課・観光誘客課

意見交換テーマ	三重県における観光の課題解決に向けた一体となった取り組みについて
<p>三重県内には数多くの観光資源が存在しており、これまでも県や三重県観光連盟を中心として県内市町の連携強化や観光コンテンツの磨き上げに取り組んでいただいております。</p> <p>しかしながら三重県における観光の課題としては、県内宿泊者数の伸び悩みやインバウンド誘客など、三重県全体が連携して取り組まなければならない状況となっております。</p> <p>宿泊に関しては令和3年に三重県内を訪れた観光客の平均宿泊日数は1.20泊で、全国43位という状況です。また三重県には一定数の観光入込客はいるものの近隣からの観光客が多く、首都圏からの観光客は減少傾向が続いています。インバウンドに関しては魅力を十分に海外に伝え切れていないことから、全国的に需要の回復が見込まれる中、取り込めていないと感じております。</p> <p>これらの課題を解決するためにも、令和7年から実施が見込まれる次期式年遷宮に関連する諸行事や、大阪・関西万博等の開催を最大限に活かし、県内各地の魅力や歴史・文化を一体的に情報発信することで、多くの観光客を誘致することができると考えております。そのために県内の受入環境等もソフト面、ハード面双方での整備を進め、県内での周遊や宿泊を促すことが三重県全体の観光活性化には重要となります。</p> <p>三重県全体の観光活性化に向けて、スケールメリットを活かした広域的な情報発信や観光DXの推進、また観光関連業務の効率化に向けて積極的な意見交換をお願いします。</p>	
<p>● 協議していただきたいポイント</p> <p>三重県全体の観光活性化に向けた県・市町が連携した取り組み（情報発信・キャンペーンの実施、県内の広域的な整備）について</p> <p>① 県内周遊の促進</p> <p>② 県内宿泊者の増加</p> <p>③ インバウンド誘客</p>	

# 令和6年度 観光部 当初予算のポイント・主要事業

全国的に回復する旅行需要を着実に取り込み、県内観光産業の更なる発展に向け、地域における持続可能な観光地づくりへの支援や、熊野古道の世界遺産登録20周年や2025年大阪・関西万博など好機を捉えた国内外からの戦略的な観光誘客の推進、観光産業の生産性向上や人材の確保に取り組みます。（予算額 24.6億円）

## 1 質が高く持続可能な観光地づくり（予算額 16.2億円）

- (1) DMOを中心とした持続可能な観光地マネジメントの確立
- (2) 三重の特色を生かした滞在型観光の推進
- (3) 旅行者を受け入れる環境の充実



百年醤油蔵で明治時代にタイムスリップ  
(伊賀市)



九木崎オハイブリーの絶景と九鬼町ブラ歩き  
(尾鷲市 九木崎)



萬古焼と地酒のペアリングを味わう食体験  
(四日市市)



自然のままの鍾乳洞で洞窟探検  
(大紀町 阿曾の風穴)

(令和5年度「拠点滞在型観光×三重」ブランディングモデル事業・みえガストロノミーツーリズム推進事業 造成例)

## 2 戦略的な観光誘客の推進（予算額 7.6億円）

- (1) 大規模イベントや周年事業を契機とした観光プロモーションの推進
- (2) 戦略的な観光マーケティングの推進
- (3) 海外の高付加価値旅行者の誘致促進
- (4) MICE・産業観光の推進



海外での観光トップセールス



観光プロモーションイベントへの出展

## 3 魅力的な観光産業の確立（予算額 0.8億円）

- (1) 観光産業の生産性向上
- (2) 観光産業を支える人材の確保・育成・定着

# 1 質が高く持続可能な観光地づくり

観光振興課  
①②③④059-224-3116

地域におけるDMOを中心とした観光地づくりの実現に向けて、(公社)三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域DMOの支援に取り組むほか、観光地づくりに意欲的なDMO等が行う宿泊施設の改修等の取組や観光コンテンツの開発、販売提供体制の構築及びブランディング等の取組を支援します。また、上質な宿泊施設の誘致や、ヘリコプターの活用に向けた実証等、旅行者が快適に滞在できる質が高い受入環境の充実に取り組めます。

★・・・特に市町に関連する事業

## (1) DMOを中心とした持続可能な観光地マネジメントの確立

### ① (一部新) 全県DMO経営基盤強化事業 161,461千円

- ★全県DMOである三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担うため、新たにインバウンド向けプロモーションを推進する体制を整備
- ★三重県観光連盟が地域DMOへの支援業務を着実に実施できるよう基盤強化を図り、地域におけるDMOを中心とした観光地づくりを推進

## (2) 三重の特色を生かした滞在型観光の推進

### ② (一部新) 拠点滞在型観光推進事業 587,747千円

- ★観光地づくりに意欲的に取り組むDMO等が行う、旅行者の滞在や周遊拠点となる宿泊施設や観光案内の充実にに向けた取組を支援
- ★地域における歴史・文化や自然等三重ならではの観光資源を生かした滞在型の観光コンテンツの開発や、販売提供体制の構築、地域ブランディングなどの取組を支援



樹木と触れ合うツリークライミング体験  
(大台町奥伊勢フォレストピア)

(令和5年度「拠点滞在型観光×三重」ブランディングモデル事業 造成例)

## (3) 旅行者を受け入れる環境の充実

### ③ (一部新) 観光客受入環境整備事業 56,758千円

- 国内外の旅行者が快適かつ便利に滞在できる環境を整えるため、受入環境の充実に取り組む
- ★バリアフリー観光の推進に向けた情報発信サイトのリニューアル
- ★上質な宿泊施設の誘致に向けた適地調査
  - ・高付加価値旅行者の移動手段としてのヘリコプターの活用に向けた実証事業
  - ★次期式年遷宮に向けた機運醸成や受入体制の強化の取組や「伊勢志摩観光MaaS推進協議会」が実施する観光MaaSの開発・運用の取組を支援



※ 上記の取組に加え、南部地域の観光インフラを充実にさせるため、上質な「みえ旅」宿泊施設立地補助金の拡充により、南部地域の中でも宿泊施設の少ない地域への立地を促進

### ④ (新) みえの風土を活用した観光推進事業 16,245千円【一部】

- ・高付加価値インバウンドの受入体制の整備に向けて、県内の国立公園・国定公園等の自然を生かしたアドベンチャートラベルの実現可能性の調査

## 2 戦略的な観光誘客の推進

観光誘客推進課  
①②059-224-2802

観光振興課  
③059-224-3116

観光戦略課  
④059-224-3115

海外誘客課  
⑤⑥⑦059-224-2974

国内外からの戦略的な観光誘客の推進に向けて、熊野古道世界遺産登録20周年イベントと連動した観光プロモーションや2025年大阪・関西万博への旅行を検討する個人旅行者をターゲットとした旅行商品の造成等に取り組みます。

特にインバウンド誘客については、和歌山県や奈良県と連携した広域での効果的なプロモーション等により、海外からの高付加価値旅行者層の誘致に取り組むとともに、地域への経済波及効果の高いMICE誘致、産業観光の推進に取り組みます。

### (1) 大規模イベントや周年事業を契機とした観光プロモーションの推進

#### ① (一部新) みえ観光の産業化推進事業 293,340千円

- ・ SNSや雑誌等様々な媒体を組み合わせた戦略的な情報発信
- ・ 熊野古道世界遺産登録20周年記念事業と連動したプロモーションや交通事業者等と連携した旅行商品の造成・販売
- ・ 2025年大阪・関西万博への旅行を検討する個人旅行者をターゲットとした旅行商品の造成・販売
- ・ 株式会社ポケモンと連携した県内への誘客や周遊促進の取組

#### ② 観光需要平準化促進事業 173,216千円

- ★観光需要の平準化に向け、閑散期や平日を対象とした、交通事業者を活用した旅行商品の造成・販売や体験コンテンツ等の利用促進キャンペーンを実施
- ★将来のファン獲得に向けた、教育旅行誘致の強化

#### ③ (一部新) 全県DMO経営基盤強化事業

63,583千円【一部】【再掲】

- ★官民連携組織である三重県観光連盟が取り組む、東南アジアや台湾等のアジア市場をターゲットとした情報発信や、海外旅行博、商談会への出展等の海外プロモーションを支援

### (2) 戦略的な観光マーケティングの推進

#### ④ 戦略的な観光マーケティング推進事業 82,576千円

- ★データ分析に基づく観光マーケティングを推進するための「みえ旅おもてなしプラットフォーム」の利便性向上
- ★データ分析スキルの向上のため、市町・DMO等へのセミナーの開催

### (3) 海外の高付加価値旅行者の誘致促進

#### ⑤ (一部新) 高付加価値旅行者層誘致促進事業 57,788千円

- ・ 高付加価値旅行者層の誘致に特化したセールススレップ（営業代理人）の設置
- ・ 県内DMOが主体となった高付加価値旅行者誘致の取組への支援
- ・ 和歌山県、奈良県等と連携した紀伊半島など広域でのプロモーション



海外の旅行会社との商談会



高付加価値市場向けファミツアー

### (4) MICE・産業観光の推進

#### ⑥ (一部新) 海外MICE誘致促進事業 37,421千円

- ・ G7伊勢志摩サミットやG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や三重の強みを生かした誘致の促進
- ・ MICEの市場動向や必要な受入環境等の調査

#### ⑦ 産業観光推進事業 13,569千円

- ・ 海外企業の報奨旅行・研修旅行の誘致促進に向けたプロモーション
- ・ 視察受入企業の裾野拡大



伝統工芸品工場の視察

### 3 魅力的な観光産業の確立

観光戦略課  
①②③059-224-3115

観光振興課  
④059-224-3116

県内観光産業の持続可能な成長産業への転換を支援するため、観光事業者が抱える課題解決に向けたコンサルティング支援などにより事業者の生産性向上の取組を支援するとともに、観光産業に特化した就職説明会の開催など人材確保の取組を支援します。

#### 観光産業を取り巻く現状と課題

##### 観光産業の抱える構造的な課題

観光産業は大きな成長が見込まれる一方、DX化への対応の遅れによる生産性の低さや旧来型の事業モデルへの依存といった課題が存在

##### 観光産業における労働環境

観光産業は平均年収が低く、勤務日や勤務時間が不規則な働き方が原因となり、離職率が高く人材が定着しない状況

宿泊業平均年収(R4):335万円(県内産業平均:481万円)  
宿泊業平均勤続年数(R4):9.2年(県内産業平均:12.4年)  
宿泊業・飲食サービス業  
年次有給休暇平均取得日数(R3年度):6.7日(県内産業平均:10.4日)

#### (1) 観光産業の生産性向上

##### ① (新) 観光産業生産性向上推進事業 34,227千円

- ★観光産業が抱える構造的な課題を分析するため、観光事業者の実態調査を実施
- ★生産性向上に意欲的な観光事業者を対象に専門家を派遣しコンサルティングを行い、DXの導入等による生産性向上や働きやすい職場づくりに向けた取組を支援

産業別最下位



#### (2) 観光産業を支える人材の確保・育成・定着

##### ② (新) 観光産業人材確保・育成事業 32,304千円

- ・観光事業者を対象とした働き方や採用手法に関するセミナーの実施
- ・観光産業に特化した就職説明会の開催
- ・人材確保に向けたマッチングの支援

##### ③ (新) 観光産業魅力発信事業 5,476千円

観光業界での働きがいや地域における貢献など、若い世代に向けて観光産業の魅力を発信

##### ④ (新) みえの風土を活用した観光推進事業 11,399千円【一部】

高付加価値インバウンドの多様なニーズに対応できる外国語能力と三重の観光に関する質の高い知識を有するガイド人材を育成



就職説明会の様子



ガイドのスキルアップ研修(実地)の様子

# 三重県観光連盟の機能強化について

## 1 三重県観光連盟の機能強化のポイント

- 官民連携による事業実施のため、市町、宿泊施設、事業者等からなる「**インバウンド委員会**」を新たに設置し、台湾、タイ、シンガポール、香港を対象市場として、海外商談会やファム等のセールス活動やメディアとタイアップした誘客プロモーション等のインバウンド業務を実施
- コンサルティング支援を行うなど、「**地域DMO等への支援業務**」の機能強化

## 2 事業実施体制

(公社) 三重県観光連盟 令和6年度組織図 (案)



## 3 今後の取組 (令和7年度～)

- 令和6年度から実施する「インバウンド業務」「地域DMO等への支援業務」の更なる強化
- 特に「地域DMO等への支援業務」に関し、地域のデータマーケティング、コンテンツ開発等への助言等の支援を強化
- 「国内向けプロモーション業務」「データマーケティング業務」について、令和6年度にあり方を検討し、地域DMO等との役割分担や連盟が担うべき業務内容を整理
- さらなる組織体制の充実のため、市町からの職員派遣が不可欠

# 大阪・関西万博三重県ブース（仮称）出展基本計画【簡易版】

## 出展の目的

三重県では、2023年にG7三重・伊勢志摩交通大臣会合が開催され、その後、大阪・関西万博、リニア中央新幹線東京名古屋間開通と大きなイベントが続き、さらに、次期遷宮など、三重県にとってチャンスが広がることから、大阪・関西万博の好機を着実に生かし、三重県への来訪につなげることを目的としています。

## 展示構成

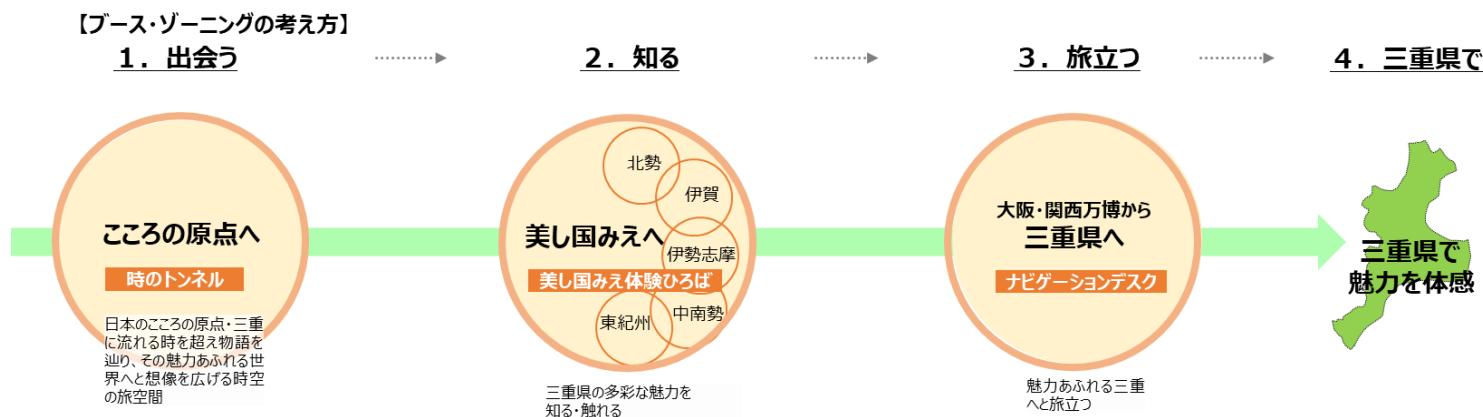
面積 160㎡（予定）

三重県が世界に誇るオンリーワンの魅力と出会い、三重県の多様な魅力を知り、三重県へ旅立つという3つのゾーンで展開します。

## 出展参加のテーマ

### 日本のこころの原点 ～美し国みえへとつづく時を超えた物語～

三重県では、古くから多様な人々が暮らし、自然や歴史・文化を大切にしながら、知恵と工夫で新しいものを生み出し、発展してきました。「こころの原点」とも言えるこの物語を、三重県の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力とともに、エンタテインメント型の空間演出で体感・体験いただきます。



①【出会う】時のトンネル



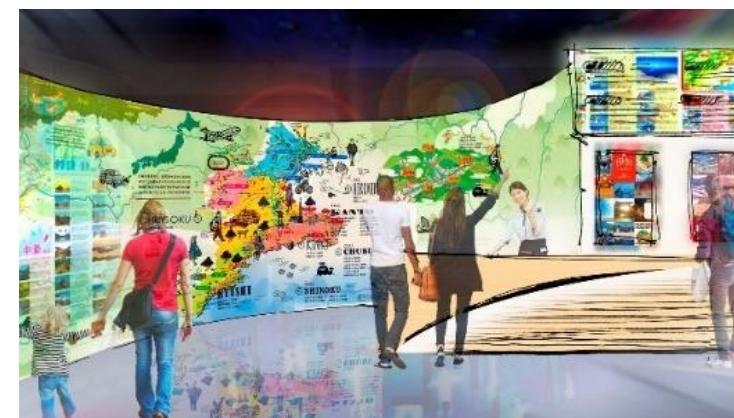
万博会場に居ながら「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の千年を超える歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開

②【知る】美し国みえ体験ひろば



県内5つのエリア別の観光紹介とともに、「三重県ならではの体験コンテンツ」を発信県内市町、団体等と連携した「オール三重」で魅力発信

③【旅立つ】ナビゲーションデスク



コンシェルジュを配置し、来場者の多様なニーズにお応えするとともに、三重県への来訪のきっかけとなる取組を実施

## 催事計画

三重県ブースの展示とも連携して三重県の魅力を発信します。

### ○関西パビリオン催事スペース

市町や団体等に参加していただき、来場者が三重県のことをもっと知りたいと思えるような催事を開催します。

### ○万博会場内催事スペース

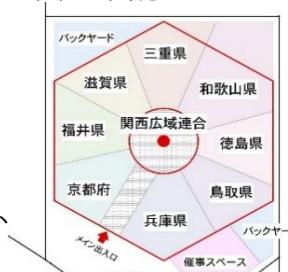
オール三重での観光や食、祭りなどをテーマとした催事を開催します。



万博会場の催事スペース 提供：2025年日本国際博覧会協会

## 関西パビリオン

参加府県：滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県、**三重県**



関西パビリオンのイメージ



提供：関西広域連合

令和5年度 県内各地の歴史・文化等の魅力発信に関する取組

社会教育・文化財保護課  
埋蔵文化財センター

●展覧会

第42回三重県埋蔵文化財展「ようこそ 三重の土偶パラダイス」

<開催期間>令和5年12月9日(土)～令和6年1月14日(日)

<会場>斎宮歴史博物館 特別展示室

<概要>・日本最古と言われる粥見井尻遺跡(三重県松阪市)・相谷熊原(滋賀県)の土偶の競演  
・令和5年6月に国重要文化財に指定された三重県天白遺跡(三重県松阪市)出土品の展示  
・記念講演会「土偶はパラダイスか?」 ほか

●パネル展示

令和5年度 三重・石川・福井3県海女漁合同パネル展示

<主催>三重県、石川県、福井県(三重会場共催:志摩市教育委員会)

<日程・会場>

(三重会場)令和5年7月8日(土)～8月30日(水) 志摩市歴史民俗資料館

(石川会場)令和5年12月8日(金)～12月28日(木) 石川県海洋漁業科学館

(福井会場)令和6年2月予定

<内容>・三重・石川・福井3県の海女漁に関するパネルの展示  
・海女漁の記録映像、3県のパンフレットの紹介

パネル展「文字が書かれた背景を読む」

<日程・会場>令和5年11月7日(火)～26日(日) 三重県総合博物館 MieMu

<内容>・三重県内の文化財指定された書跡・典籍・棟札等をパネルで紹介

●講演会

令和5年度世界遺産講演会「玉城町・石仏庵と熊野参詣道伊勢路」

<日程・会場>

令和6年2月3日(土) 玉城町保健福祉会館 ふれあいホール

<内容>・玉城町・多気町・大台町で新たに発見された資産の調査報告成果  
・玉城町・石仏庵についての解説

●SNS等を通じた取組

Instagram投稿キャンペーン「#みえのお祭り2023」

<募集期間>

令和5年10月6日(金)～令和6年2月19日(月)

公式Facebook「守ろう活かそう三重の文化財」・公式Youtube「社文課TV」での投稿

「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会  
意見交換テーマシート

団体名・部局課名： 三重県町村会

意見交換テーマ	専門職の人材確保について
<p>人口減少下において、小規模市町では、持続可能な行政サービスを提供するための人材の確保が不可欠である。</p> <p>特に専門職（土木建築、保健師、保育士）採用のハードルが高く、単独で募集しても応募がなく、採用に至っていないことが多い。</p> <p>町では、専門職採用にあたって年齢制限の引上げ、筆記試験なしの面接試験のみの実施、採用案内サイトに登録、統一した試験日からずらしての試験実施を行うとともに、インターンシップの受け入れの実施や町内に住む条件で住居手当の優遇といったことも検討している。</p> <p>さらには、苦肉の策として一般職員の中で適性を見ながら、専門職の研修を受講させ、育成し対応をしていくことも考えている。</p> <p>このような中、県内の大学や高校で専門技術を修得した人材が、卒業後に都市部を中心とした県外へ流出している状況にあり、市町の専門職の人材不足に拍車をかけている。</p> <p>これらの対策として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の大学、高校で専門技術を修得した人材が、卒業後も地元に残るような専門職の育成する教育の実施。</li> <li>・空き校舎を活用した専門資格を持つものを育成する教育の実施。</li> <li>・県と希望する市町との共同採用試験の実施をすることでの受験者増や、採用事務の効率化。</li> <li>・専門人材のシェアリング・登録制度により、限られた専門性の高い人材の有効活用。</li> <li>・市町の要望に基づき上乘せ採用した職員を、研修派遣。</li> </ul> <p>といったことなどが考えられるが、本件について意見交換いたしたい。</p> <p>また、県としての考えをお聞かせ願いたい。</p>	
<p>● 協議していただきたいポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職の人材確保に向けた、県と市町が連携した取り組みについて</li> </ul>	



「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」総会  
意見交換テーマシート

体名・部局課名： 三重県政策企画部人口減少対策課

環境生活部ダイバーシティ社会推進課

意見交換テーマ	ジェンダーギャップの解消の推進について
<p>本県においては、転出超過数の約8割が15～29歳の若者であり、人口の6%を占める15～29歳の女性の転出が全体の4～5割程度の規模となっている状況です。こうしたことから若者、特に女性の県外流出は本県における人口減少対策にとって大きな課題の一つとなっています。また、有識者からは、三重県の少子化の要因として、女性の転出により「統計的な結婚適齢期の男女人口比」が不自然な状態にあることによる婚姻数の減少の影響も大きいとの指摘があったところです（R5.4.20 三重県人口減少対策有識者会議）。</p> <p>こうした背景には、性別役割分担を前提とした家事や育児の在り方や、職場や地域におけるジェンダーバイアスの存在が考えられ、県では「三重県人口減少対策方針」の検討の中で、対策のキーワードに「ジェンダーギャップの解消」を位置づけ、注力していくこととしています。</p> <p>県でも令和5年度、県内の働く女性にワークショップ形式で、どのようになれば暮らしやすいか、働きやすいかを議論していただくとともに（みえ働くサスティナラボ）、全国46位とされた2023年の都道府県版ジェンダーギャップ指数（経済分野）の結果の分析などに取り組んでいるところです。</p> <p>人口減少のスピードの緩和に向け、県内に若者、特に女性が定着していただくためには、以下のような課題に対応し、ジェンダーギャップの解消に取り組んでいく必要があると考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産育休などでキャリアが中断した場合のキャリアアップの機会の確保</li> <li>・職場での長時間労働の是正や、多様性のある働き方の導入</li> <li>・保育や学童などのサービス提供の拡充</li> <li>・家庭における偏った家事、育児等の適切な分担（男性の育児参画等の促進）</li> <li>・社会における固定的な性別役割分担意識に基づく制度などの存在の是正</li> </ul> <p>三重県全体が、女性も男性も働きやすく、住みやすい「選ばれる地域」となるよう、これらの課題の解決に向けてどのように対応すべきかについて意見交換を行いたい。</p>	
<p>● 協議していただきたいポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の課題を含め、ジェンダーギャップ解消につながる男女共同参画社会の実現に向けた取組を行ってきている中で、どのような点が課題となっているか。</li> <li>・上記の課題への対応として県や市町でどのように取り組むべきか。また、企業や県民など行政以外の主体に対して、どのように働きかけるべきか。</li> </ul>	

※ 参考資料

- ①三重県人口減少対策方針（該当部分）
- ②ジェンダーギャップの解消に向けた取組について

## 三重県人口減少対策方針(令和5年8月策定)関係部分抜粋

### 2 人口減少対策の基本的事項

#### (1)人口減少対策の基本的な考え方

#### (イ)新しい視点に基づく人口減少対策

#### ④ジェンダーギャップの解消

- 少子化や女性の転出超過の背景にジェンダーギャップの存在が指摘されています。性別役割分担を前提とした家事や育児のあり方は、女性に過度な負担を強いており、このような状況では、希望する方が結婚したり、出産・子育てすることも困難になります。また、「男性だから」「女性だから」というジェンダーバイアスが強い職場や地域は生きづらく、個人の活躍の場を奪っているとも言えます。このような状況を放置すれば、社会的・経済的な損失につながるとともに、人口減少に拍車がかかる恐れがあります。
- 男女の賃金格差の解消や、男性の家事・育児参画を推進するなど、ジェンダーギャップの解消に向けては、企業等との意見交換の場や女性との意見交換の場を設け、課題やニーズを抽出し、対策に取り組むとともに、さまざまな主体による教育や啓発の充実に取り組みます。また、育児休業や時短勤務などを利用しやすい職場づくりなど、働き方改革を促進するとともに、子育てしやすい環境を充実します。

### 3 人口減少対策の具体的な取組方向

#### (2)社会減対策の取組方向

#### (ア)定住促進

#### ②女性の働きやすい職場づくりの支援

#### 【現状・課題】

転出超過数について男女別に見ると、女性が多くなっています。近年は全体の約6割を占める状況にあり、特に、令和4(2022)年では、女性の転出超過数のうち20歳～24歳の女性が半数を占めるとともに、当該年代の女性が男性の約2.5倍も多く転出しているなど、女性の県外流出が大きな課題となっています。この多くは就職を契機に移動している傾向があり、本県では、特に20代後半から30代前半において、アンバランスな人口性比となっております。

民間の研究団体からは、本県の都道府県版ジェンダーギャップ指数(経済分野)は全国46位で、フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差が全国最大<sup>1</sup>となるなどの研究成

<sup>1</sup> 都道府県版ジェンダーギャップ指数は、大学教授等で作る「地域からジェンダー平等研究会」が、内閣府などの統計から計30指標を選出し、4分野で各都道府県の女性の地位を分析した指数。スイスのシンクタンク、世界経済フォーラム(WEF)が毎年公表するジェンダー・ギャップ指数と同様の手法で統計処理して試算。三重県は、都道府県版ジェンダー・ギャップ指数(経済分野)で全国46位(フルタイムの仕事に従事する男女比は全国45位、フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差は47位)。

果が公表されています。

こうしたことから、女性が活躍できる職場環境づくりの支援に取り組むとともに、女性が安心して働き続けることができるよう、固定的な性別役割分担意識の解消に向けても取り組む必要があります。

加えて、本県の女性の非正規雇用のうち、不本意ながら非正規で働く方の割合(7.3%)は、全国平均(9.2%)に比べ 2%程度低いものの、こうした不本意非正規雇用の女性に対して、正規雇用に向けて一人ひとりの実情に応じた支援に取り組む必要があります。

### 【取組方向】

企業と連携して、多様な働き方ができる職場や女性が活躍できる職場など、誰もが働きやすい魅力ある職場環境づくりをより一層進めるとともに、正規雇用を希望する女性一人ひとりのニーズに合わせたキャリアアップの支援や、根強く残る固定的な性別役割分担意識の解消などの意識啓発に取り組めます。また、県外在住の求職者等に、女性活躍に取り組む企業の事例等、女性の希望に合った就労につながるような情報発信を行います。

## (3)人口減少対策に関連する取組

### (共生社会に向けた取組)

一人ひとりが互いの人権を尊重するとともに、性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向、性自認などに関わらず、誰もが個性や能力を持つ個人として尊重され、希望を持って日々自分らしく生きられ、自分の目標に向けて挑戦し、能力を発揮し、参画・活躍できるよう、職業生活における女性活躍の推進、性の多様性を認め合う環境づくり、多文化共生社会づくり等、ダイバーシティ推進に取り組めます。

女性活躍の推進に向けて、男女の賃金格差などのジェンダーギャップの解消に向け、企業等との意見交換の場や女性との意見交換の場を設けるなど、企業・団体・関係者等と連携し、組織における意識改革や人材育成・登用などに取り組み、性別に関わらず能力を発揮できる職場環境の整備を進めます。

高齢者や障がい者がその適性や能力を生かし、地域において活躍できるよう、スキルアップ等の支援を行うとともに、デジタル技術などを活用し、心身の状況等に応じた多様な働き方の普及に取り組めます。

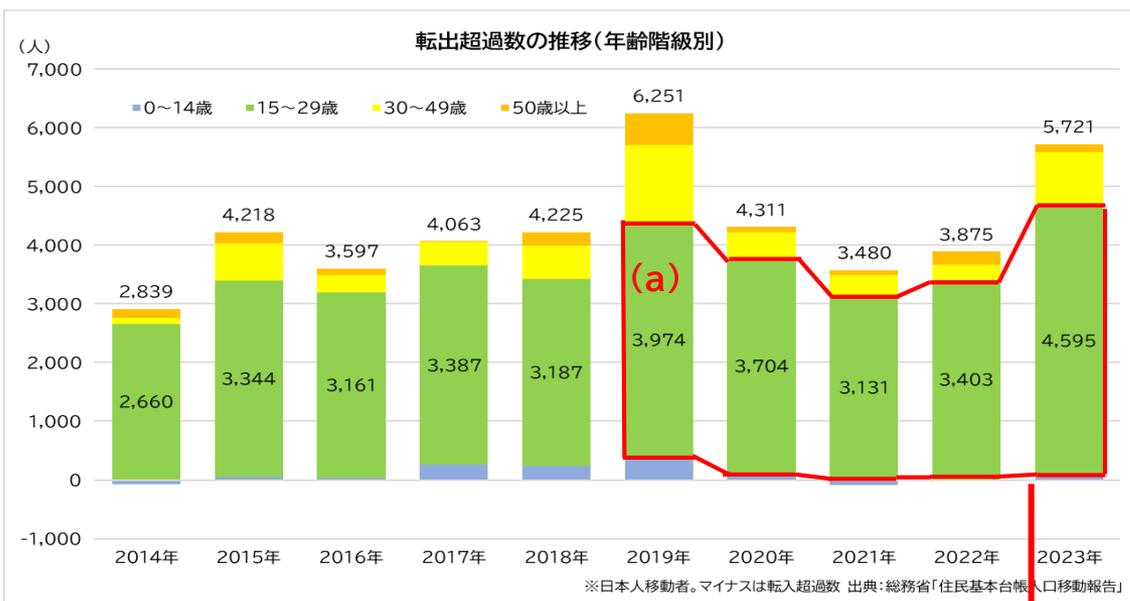
外国人住民が安心して生活し、働くことができるよう、さまざまな主体と連携して、行政生活情報の多言語化や相談体制の充実など、外国人住民が抱える日常生活における課題の解決に向けた支援に取り組むとともに、相談対応や企業に対するセミナーの実施など就労支援に取り組めます。

## 1 課題認識

- 転出超過数の約8割が15歳～29歳の若者。  
(進学や就職が主な要因)
- 三重県人口のうち6%しかいない15歳～29歳の女性の  
転出超過が全体の4～5割程度の規模となっている。



- 少子化や女性の転出超過の要因の一つとして、**ジェンダーギャップの存在**が指摘
- 性別役割分担を前提とした**家事や育児のあり方**、ジェンダーバイアスなど**職場や地域における課題**などに取り組む必要



15～29歳の転出超過数の男女構成

	男2019	男2020	男2021	男2022	男2023	女2019	女2020	女2021	女2022	女2023
<b>(b)</b>	1,554	1,615	1,216	1,264	2,342	2,420	2,089	1,915	2,139	2,253
<b>b/a×100</b>	39%	44%	39%	37%	51%	61%	56%	61%	63%	49%

## 都道府県別ジェンダーギャップ指数

経済分野(2023年)

**全国46位**

経済分野を構成する主な項目の状況

- ✓ フルタイムの仕事に従事する男女比 → **全国45位**
- ✓ フルタイムの仕事に従事する男女間の賃金格差 → **全国47位**
- ✓ 共働き家庭の家事・育児などに使用する時間の男女格差 → **全国41位**

## 2 令和5年度の取組

- ▶ 都道府県ジェンダーギャップ指数（2023年版）の評価などをふまえ、**三重県人口減少対策方針で対策の新たな視点**として、ジェンダーギャップの解消を記載。[R5.8]
- ▶ 令和5年度の調査分析においては、**都道府県版ジェンダーギャップ指数（2023年版）の経済分野で本県が低位である背景**を分析中。また、県内企業の経営者層や従業員にアンケートを実施し、**男女がともに働きやすい職場環境づくりのための制度活用の実態**について分析予定。[R5.11～R6.6]
- ▶ 県内で**働く女性のワークショップを開催し（みえ働くサスティナラボ）**、ジェンダーギャップ解消等に向けた提案の検討を実施（15企業28名が参加）。提案を受け、県の対策へ反映。[R5.9～R6.1]



- ▶ 商工団体等に参画をいただき「**若者の県内定着・人口還流に向けた産学官連携懇話会**」を設置し、第1回会議を開催。ジェンダーギャップの解消などの取組の必要性を共有し、**今後連携して対策に取り組むこと**について宣言を実施。[R5.12]

## 3 令和6年度の取組（案）

### （1）調査・分析

#### ①ジェンダーギャップの状況に関する調査・分析

- ・企業における**制度活用の実態調査**
- ・**意識・慣行に関する県民調査**
- ・**県外転出女性へのアンケート、ヒアリング**



- ・調査分析結果をふまえた**取組の改善・追加**
- ・市町、企業との連携  
⇒**市町長、担当課長との会議、フォーラム**  
⇒**若者の県内定着・人口還流に向けた産学官連携懇話会**

### （2）啓発

#### ①働き方改革(ワーク・ライフ・バランス)の推進

- ・**休みやすい職場づくりセミナー**や**アドバイザー派遣**により企業の働き方改革を推進

#### ②女性が個性・能力を発揮できる環境整備

- ・企業の**トップやリーダー層の意識啓発**、働く女性の**ロールモデルとの交流会**等を実施

#### ③男性の育児参画の促進

- ・企業での育児休業取得が促進され、男性の育児参画が進むよう、**優良事例の表彰**、**情報発信**を実施

#### ④男女共同参画の啓発

- ・ジェンダーバイアスに関する啓発、セミナー開催、情報発信、相談対応

### （3）若者（特に女性）が働きやすい環境整備

#### ①働きやすい職場環境の整備支援

- ・男女がともに働きやすい職場づくり、男性育休取得促進等に取り組む**企業向け奨励金**の創設

#### ②若者に選ばれる就職先の誘致促進

- ・男女間の給与格差が少ない業種である**「情報通信産業」に対する誘致補助金**の設置

#### ③女性のキャリアアップや再就職の支援

- ・「三重で楽しみ、働く魅力」のPR
- ・女性専用窓口による相談等の実施

#### ④保育所、放課後児童クラブなど子育て環境の充実

- ・運営や整備の支援、保育士等の確保

# 令和6年度当初予算のポイント（主な新規・重点事業）

一般会計総額 8,051億円 [対前年度比321億円（3.8%）減]  
[※R5コロナ対策関係経費除き 対前年度比309億円（4.0%）増]



参考資料

※以下のR5予算額は施策の構成事業が異なることからR5「当初予算のポイント」と突合しない場合があります。また、以下のページ番号は、資料2（令和6年度当初予算のポイント）の該当ページを示しています。

## 1. 子どもたちの輝く未来の実現

[R5：149億円→R6：165億円（対前年度比16億円（10.9%）増）]

### （1）「みえ子どもまるごと支援パッケージ」の充実 ※詳細は別紙1参照（P.14）

- ① 子どもの命とすこやかな育ちを守る
  - 新 (a) 北勢児童相談所・一時保護所の建替えに向けた基本計画の策定
- ② 子ども施策のさらなる充実
  - 新 (a) 子ども医療費に係る市町への補助について、入院医療費の対象年齢を中学生まで拡大
- ③ 誰一人取り残さない教育の推進
  - 新 (a) 市町の校内教育支援センターの設置促進に向けた支援、フリースクール等で学ぶ子どもたちへの支援
  - 新 (b) 弁護士によるいじめ予防授業の教材を作成し、すべての公立小学校で活用できるよう教職員研修を実施

## 2. 実効性のある人口減少対策の推進

※詳細は別紙2「人口減少対策関係事業総覧」参照

[R5：113億円→R6：118億円（対前年度比5億円（4.5%）増）]

### （1）ジェンダーギャップの解消（P.20）

- 新 (a) 企業リーダー層の意識啓発、ジェンダーギャップ県民意識調査、働く女性のロールモデルとの交流会等を実施
- 新 (b) 男女がともに働きやすい職場づくり・男性育休取得促進等に取り組む企業向け奨励金の創設
- 新 (c) 企業での育児休業取得を促進し男性の育児参画を進めるため、優良事例を表彰する制度の創設
- 新 (d) 男女間の給与格差が少ない業種である「情報通信産業」に対する誘致補助金の設置

### （2）人口還流の促進（P.22）

- 新 (a) 移住希望者の不安軽減や県内定着を図るため、お試し住宅の整備・利用促進に取り組む市町を支援
- 新 (b) 利活用が可能な空き家について、移住者の住まい等としてリフォームを行う市町の取組を支援
- 新 (c) 県内居住等の条件を満たした若者への奨学金返還支援制度を充実、県内企業が行う支援制度との一体的な周知

## 3. 時代の変化と潮流を捉えた産業振興

[R5：468億円→R6：476億円（対前年度比8億円（1.7%）増）]

### （1）人材確保対策の推進 ※詳細は別紙3「人材確保対策プラン」参照（P.26）

- ① さまざまな分野における担い手確保、多様な人材の就労支援、副業・兼業の活用
  - 新 (a) 就農希望者の提案事業に対する農地貸付、みえの就農サポートリーダーが新規就農者の経営早期確立支援
  - 新 (b) 交通事業者における運転士不足を踏まえ、事業者や市町と連携して運転士確保の取組を支援
  - 新 (c) 県内で活躍する地域医療リーダー等を活用した情報発信の強化等により医師・看護職員の確保を推進
  - 新 (d) 薬剤師不足・偏在の解消をめざし、奨学金返還助成制度を構築
  - 新 (e) 観光事業者の人材確保に向け、観光事業者特化型の就職説明会の開催や求職者とのマッチングを支援
  - 新 (f) 高度外国人材の採用をめざし、海外において合同面接会を開催し、県内企業とのマッチングを支援
  - 新 (g) 中小企業が、首都圏等の都市部に勤務するDX人材等の副業・兼業人材を活用する取組を支援

### ② 生産性の向上、リスクリングの促進

- 新 (a) 「介護生産性向上総合相談センター（仮称）」を設置、介護ロボット・ICTの導入支援等を実施
- 新 (b) 県内すべての医療機関を包括する地域医療連携DX基盤の構築を支援
- 新 (c) 中小企業のデジタル化を加速するため、リスクリング事業によりDX人材の育成を支援

### （2）産業の成長と創出に向けた支援（P.30）

#### ① 「ゼロエミッションみえ」プロジェクトの推進

- 新 (a) 中小ものづくり企業のCN・EV化に向けて、新分野進出や業態転換等の取組を支援
- 新 (b) 水素・アンモニア、バイオマス燃料等の供給網整備や水素モビリティの普及・展開に向けた実証事業等を実施
  - (c) J-クレジットの認証取得の拡大に向けた森林情報基盤の整備の実施、モニタリング手法検証

#### ② ものづくり産業とスタートアップの支援

- 新 (a) みえスタートアップ支援プラットフォームに新たにワンストップ相談窓口を設置
- 新 (b) 工業研究所の企業支援機能の拡充のため、具体的な技術支援機能の強化や建替えにかかる基本計画を策定
- 新 (c) 県内企業のASEAN地域への展開を促進するため、タイに産業コーディネーター機能を確保

#### ③ 農林水産業の持続的な発展・販路拡大

- 新 (a) 航空事業者等と連携し伊勢茶の特長を発信するとともに、伊勢茶利用加速化キャンペーンを実施
- 新 (b) 果実の輸出拡大に向け、高品質果実の生産・省力化に資する設備導入の支援、輸出過程で生じるロス解消
- 新 (c) 令和13年度の全国植樹祭の招致に向け、「森林フェスタ」開催等により県民の森林を育む意識を醸成
- 新 (d) 高水温化により増加している魚病被害の軽減のため、低水温となる深い水深での養殖技術開発
- (e) 県産和牛の輸出拡大に向け、現地商社と連携したイベント開催、和牛の歴史や調理方法の情報発信
- 新 (f) 農林水福連携で生産された商品の利用促進に向け、福祉事業所と社員食堂や子ども食堂とのマッチングを支援
  - (g) 大阪・関西万博を見据え、関西圏での三重県フェア、プロモーションや、航空事業者との連携で魅力発信

### （2）自分らしく生き抜いていく力の育成（P.18）

- 新 (a) 自己肯定感を涵養する教育の推進

### （3）子どもたちの学びを支える教職員の資質向上・人材確保（P.19）

- 新 (a) 学校管理職を対象としたマネジメント研修の充実、新規採用者のスタート支援、若手教員等の授業力向上
- 新 (b) 学校が直面する困難事例への相談体制整備、未就業の教員免許状所有者等への魅力発信

### （4）子どもたちが豊かに育つ環境づくり（P.16）

- 新 (a) 私立高等学校等に通う生徒の保護者の経済的負担を軽減し、生徒の修学を支援

### （3）希望がかない、安心して子どもを産み育てることができる環境整備（P.23）

- (a) 市町が地域の実情等に合わせて工夫を凝らして実施する独自の子ども・子育て事業を支援

### （4）公共交通の活性化（P.24）

- 新 (a) 交通不便地域等における高齢者等のニーズをきめ細かく把握し、市町等が行う移動サービス導入への支援を拡充、地域内交通ネットワーク構築に向け重点的に支援
- 新 (b) 沿線自治体や鉄道事業者等と連携して、JR関西本線の活性化と利用促進に向けた取組を推進

### （5）地域の賑わい創出・活性化および関係人口・交流人口の拡大（P.25）

- (a) 津駅周辺の賑わいの創出等を図るため、津駅東口通りの歩道空間拡張の計画を具体化

## 4. 観光振興と三重の魅力のプロモーション

[R5：28億円→R6：32億円（対前年度比4億円（14.8%）増）]

※R5県内旅行促進事業除き

### （1）時機を捉えた効果的なプロモーション（P.38）

- 新 (a) 「選ばれる三重」の実現のため、認知度向上の取組や好機を捉えた効果的な全庁プロモーションを展開
- (b) 関西観光本部や日本政府観光局（JNTO）と連携し万博に訪れる外国人旅行者の県内誘致を推進

### （2）世界遺産登録20周年を迎える熊野古道伊勢路の魅力向上（P.40）

- 新 (a) 20周年記念イベントの開催や首都圏をはじめとした都市部でのプロモーション等により、伊勢路の魅力を上向
- 新 (b) 熊野古道伊勢路周辺の受入れ環境の充実や沿道整備、世界遺産追加登録に向けた支援を継続

### （3）質が高く持続可能な観光地づくり（P.41）

- 新 (a) 熊野古道伊勢路が存在する南部地域に上質な宿泊施設の立地を促進するための補助制度を設置
- 新 (b) 海外ターゲット市場にセールスレップ（営業代理人）を配置するとともに、広域で高付加価値旅行者層を誘致

### （4）戦略的な観光誘客（P.42）

- 新 (a) 首都圏における各種広告やイベントなど、比較的消費単価の高い顧客層向け観光プロモーション
- 新 (b) 斎宮の認知度向上に向けた情報発信等、斎宮を核とした文化観光により、斎宮に賑わいを創出

## 5. いのちを守り、暮らしを支える

[R5：1,893億円→R6：1,968億円（対前年度比75億円（4.0%）増）]

### （1）防災・減災対策の推進（P.43）

- 新 (a) 能登半島地震の被災地の支援活動や調査を通じて得られる気づきも踏まえ、県の防災・減災対策について検証
- 新 (b) 南海トラフ地震の発生に備え、能登半島地震から得られる気づきも踏まえつつ、被害想定を見直し
- 新 (c) 三重県防災アプリを開発して防災気象情報等を発信するとともに、アプリを活用した訓練を実施
- 新 (d) 空調設備の整備等による避難所環境の改善や、津波避難タワー等の一時避難場所、避難路の整備を促進
- 新 (e) 災害対策本部を設置する県有施設等の災害リスクを調査

### （2）医療・介護の充実（P.47）

- 新 (a) AYA世代（18歳～39歳）のがん患者のQOL向上のため在宅療養を支援
- 新 (b) 特定技能外国人を中心とした外国人介護人材の受入れを促進するため、制度等に関する説明会を開催
- 新 (c) 希少がん等の正確な病理診断を迅速に実施するため、遠隔での診断を可能とするための設備整備を支援

### （3）安全・安心な暮らしと環境保全（P.49）

- 新 (a) 特殊詐欺被害防止のため、講話や寸劇による正しい理解の促進、防犯機能付き電話機等の設置促進
- 新 (b) 伊勢湾流域圏の三県が連携し、海洋ごみの広域的な発生抑制対策を推進

### （4）地域で支える共生社会の実現（P.54）

- 新 (a) 日本語の支援が必要な地域を広くカバーするため、オンライン日本語教室のモデルを構築
- 新 (b) ひきこもり当事者や家族支援のための実態調査、広域的支援体制を試行的に実施

### （5）文化振興・スポーツの推進（P.59）

- 新 (a) 子どもたちが美術館で著名な美術作品にふれる機会を提供するため、収蔵品の充実に向けた基金の積立
- 新 (b) 総合博物館開館10周年を記念し、特別な企画展や、県立文化施設が連携したイベントを開催
  - (c) スポーツにふれ親しむ機会を創出するとともに、市町等が行うスポーツによる地域活性化の取組を支援
  - (d) 障がいの有無にかかわらず共にスポーツを楽しむ環境づくり、障がい者スポーツの一層の裾野の拡大

※数値は四捨五入によるため、増減額・増減率は計算が一致しないことがあります。

再掲

- **ポイント1 ジェンダーギャップの解消が後押しする「ライフステージごとに切れ目のない支援」**
  - ・男女がともに働きやすい職場環境が整備されるなど、ジェンダーギャップの解消を促進することでライフステージごとに切れ目のない支援の効果をさらに高め、結婚、妊娠・出産、子育てを望む県民をサポート
- **ポイント2 「2ndステージ」へのステップアップ**
  - ・子ども医療費補助の拡大や、男女がともに働きやすい職場づくりのための補助金創設、フリースクール等で学ぶ子ども達への支援といった新たな取組と継続事業の拡充により、子どもパッケージを一層充実（前年度比7.8%増）
- **ポイント3 子どもの安全・安心の強化**
  - ・児童虐待対応力のさらなる強化



## ポイント1 ジェンダーギャップの解消が後押しする「ライフステージごとに切れ目のない支援」

- ・男女がともに働きやすい職場づくり等に取り組む企業向け奨励金創設
- ・企業における育児参画に係る優良事例の表彰制度の創設
- ・男女間の給与格差が少ない業種である「情報通信産業」に対する誘致補助金の設置



## ポイント2 「2ndステージ」へのステップアップ

### ➤ 新たな取組

- ・入院医療費の市町への補助対象年齢を中学生まで拡大
- ・男女がともに働きやすい職場づくり等に取り組む企業向け奨励金の創設
- ・男女間の給与格差が少ない業種である「情報通信産業」に対する誘致補助金の設置
- ・フリースクール等で学ぶ子どもたちへの支援
- ・北勢児童相談所等の建替えに向けた基本計画策定

### ➤ 継続事業のさらなる拡充

- ・子どもの居場所づくりと子ども食堂運営団体等への補助
- ・私立保育所等において保育士を追加配置した場合の補助
- ・低所得子育て世帯等への学習支援等の拡充
- ・子ども心身発達医療センターにおける受診予約体制の拡充

## ポイント3 子どもの安全・安心の強化

### ➤ 児童相談体制の強化

- ・児童相談所職員16名、本庁職員4名の増員

### ➤ 虐待対応力の強化

- ・児童虐待モニタリングの県内全域への拡大による対面確認の強化
- ・児童福祉関係者への親子関係修復に係る保護者支援プログラム研修の実施

### ➤ 安心な環境の整備

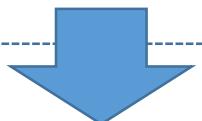
- ・保育士等への臨床心理士など専門家によるアウトリーチ支援
- ・弁護士によるいじめ予防授業の教材作成と活用に向けた教職員研修の実施

結婚・妊娠・子育て等の希望がかない、全ての子どもが豊かに育つ三重の実現をめざす

ライフステージごとに切れ目のない支援

ジェンダーギャップの解消

- 男女がともに働きやすい職場づくり等に取り組む企業向け奨励金創設
  - 企業における育児参画に係る優良事例の表彰制度の創設
  - ジェンダーギャップの解消に向けた県民対象の意識調査
  - 男女間の給与格差が少ない業種である「情報通信産業」に対する誘致補助金の設置
- 〔予算額：0.4億円〕**



結婚

- 出会いの支援
    - ・ みえ出逢いサポートセンター等を通じた出会いの機会の創出
    - ・ みえの縁むすび地域サポーターによる、結婚を希望する人同士の引き合わせ
  - ライフプラン教育の充実
    - ・ 大学や企業、団体等へのライフプランアドバイザーの派遣
    - ・ 若者への出産等に関する知識の普及
- 〔予算額：0.3億円〕**

妊娠・出産

- 不妊等に悩む方への支援
    - ・ 保険適用のない不妊治療への助成（先進医療等）
    - ・ 不妊専門相談センターにおける相談支援
  - 出産・育児に対する負担・不安の解消
    - ・ 出産・子育て応援交付金
    - ・ 母子生活支援施設や助産師を活用した妊産婦への休息の場や育児指導・支援を提供
- 〔予算額：7.8億円〕**

子育て

- 市町の子ども・子育て支援事業等に対する支援
    - ・ 市町の創意工夫による取組を対象とする補助金
  - 子ども医療費補助など、子育て家庭等への支援
    - 入院医療費の市町への補助対象年齢を中学生まで拡大
    - 「子育て家庭応援クーポン」のアプリの運用
  - 待機児童の解消、保育士等の確保・処遇改善と支援
    - 保育士等への臨床心理士など専門家によるアウトリーチ支援
    - 保育所等社会福祉施設への社労士同行による指導監査の強化
    - 私立保育所等において保育士を追加配置した場合の補助
    - 放課後児童クラブ利用料の補助基準額の拡充
  - 男性の育児参画、女性の就労、仕事と子育ての両立支援
    - ・ 家事・育児スキルの向上支援
- 〔予算額：73億円〕**

次の時代を担う子どもの支援

未来を拓く豊かな育ち

- 子どもの貧困対策・貧困の連鎖の解消
    - 子どもの居場所づくりと子ども食堂運営団体等への補助
  - ヤングケアラーへの支援
    - ・ 関係機関職員の研修、出前講座やハンドブックによる啓発
  - 発達障害児等への支援
    - ・ 電話相談やサテライト外来診療の実施など地域における切れ目のない支援体制の推進
    - 子ども心身発達医療センターにおける受診予約体制の拡充
    - 強度行動障がい者（児）支援施設への専門家による集中的訪問
  - 豊かな育ちに向けた環境づくり
    - 子どもの学びや体験イベントの開催を支援する補助金の創設
    - 子どもの意見を反映した「三重県こども計画（仮称）」の策定
    - 低所得子育て世帯等への学習支援等の拡充
- 〔予算額：3.5億円〕**

セーフティネットの確保

- 児童福祉施設の計画的な整備
    - 北勢児童相談所・一時保護所の建替えに向けた基本計画策定
  - 児童虐待対応力等の強化
    - 児童相談体制の人員強化（20人増（児相16人、本庁4人））
    - 児童虐待モニタリングの県内全域への拡大など対面確認の強化
    - 児童福祉関係者への親子関係修復に係る保護者支援研修の実施
    - 雇上げ経費支援による児童養護施設等の体制強化及び人材確保
    - 母子への緊急通報装置の貸出
- 〔予算額：13.3億円〕**

安心な環境づくり

- いじめ対策の推進
    - 児童・生徒の自殺予防のため学校にアドバイザーを派遣
    - 早期解決のためのいじめ予防プログラムの実証研究
    - 弁護士によるいじめ予防授業の教材作成と活用に向けた教職員研修の実施
    - スクールカウンセラー等によるいじめ当事者の悩みや課題の解消
  - 不登校児童生徒への多様な学びの支援の充実
    - フリースクール等で学ぶ子どもたちへの支援
    - 校内教育支援センター設置促進と学びの多様化学校設置準備
- 〔予算額：7.9億円〕**

「三重県人口減少対策方針（R5.8）」に基づき、市町や企業などさまざまな主体と連携しながら、人口減少のスピードの緩和をめざし、全庁を挙げて効果的な取組を着実に実行します。

## 自然減対策

### ジェンダーギャップの解消

県人口の約6%を占める15歳～29歳の女性の転出が継続（転出超過数全体の約4割に相当）

- 新** 企業のトップやリーダー層の意識啓発、働く女性のロールモデルとの交流会等を実施
- 新** 企業での育児休業取得が促進され、男性の育児参加が進むよう、優良事例について表彰を行うとともに、広く情報発信
- 新** 休みやすい職場づくりセミナーやアドバイザー派遣により企業の働き方改革を推進し、従業員のワーク・ライフ・バランスを向上
- 新** 男女がともに働きやすい職場づくり・男性育休取得促進等に取り組む企業向け奨励金の創設
- 新** 男女間の給与格差が少ない業種である「情報通信産業」に対する誘致補助金の設置

## 社会減対策

### 希望がかない、安心して子どもを産み育てることができる環境整備

- みえ出逢いサポートセンター等を通じた出会いの機会の創出
- 保険適用のない不妊治療への助成（先進医療等）
- 市町の創意工夫による子ども・子育て支援の取組を対象とした補助金による支援
- 新** 子ども医療費に係る市町への補助について、入院医療費の対象年齢を中学生まで拡大

詳細は「みえ子どもまると支援パッケージ・2ndステージ」参照

### 市町・企業との連携

#### 【市町との連携】

- 市町の創意工夫による子ども・子育て支援の取組を対象とした補助金による支援 ※再掲

#### 【企業との連携】

- 新** 若者の県内定着・人口還流に向けた産学官連携懇話会等での議論を踏まえた対策の推進

### 人口還流の促進

#### 【移住や人口還流の促進】

- 新** 転職希望者など新たな層を対象とした相談会や県独自フェアを開催、三重ならではの暮らし体験を企業と連携して実施、お試し住宅の整備に取り組む市町を支援
- 新** 県外から移住し、地域課題に取り組む起業を行おうとする者に対し、起業支援金と伴走支援を提供
- 新** 自社の事業分野における専門的な知識等を有する人材をU・I・Jターンにより確保しようとする中小企業を支援
- 新** 移住者の住まい等として空き家リフォームを行う市町の取組を支援
- 新** 県営住宅の空き住戸をお試し住宅や定住用住宅として提供
- 新** 小中学校のモデル校において、地域企業等と連携した探究的な学びによる郷土教育やキャリア教育を実施

#### 【県内就職の促進】

- 新** 県内就職情報等を三重県出身者にLINEで発信
- 新** 就活を始める県出身の女子学生等を対象に、県内企業の調べ方等のセミナーを三重テラスで開催
- 新** 県内外の女性求職者等を対象に「三重で楽しみ、働く魅力」をPRするとともに、一人ひとりのニーズに合わせた就職支援を実施
- 新** 男女間の給与格差が少ない業種である「情報通信産業」に対する誘致補助金の設置 ※再掲
- 新** 県外在住の転職潜在層への「三重県で暮らし、働く魅力」の発信
- 新** 県内居住や県内産業への就業等、一定の条件を満たした場合に奨学金返還額の一部を支援する制度を充実、県内企業の代理返還の取組と併せたPR

## 人口減少対策に関連する取組

### 人口減少社会への適応

#### 【中長期的な地域の方向性の検討】

- 新** 市町が行う人口減少を前提とした地域社会のあり方の検討等について支援

#### 【公共交通の活性化】

- 新** 地域公共交通に関する高齢者等のニーズ、地域の実情の把握に努めるとともに、交通不便地域等における移動手段の確保に向けた市町等の取組に対し、調査から実証事業、定着まで切れ目なく支援
- 新** 沿線自治体や鉄道事業者等と連携して、JR関西本線の活性化と利用促進に向けた取組を推進

#### 【地域の賑わい創出・活性化および関係人口・交流人口の拡大】

- 新** 中小企業が、首都圏等の都市部に勤務するDX人材等の副業・兼業人材を活用する取組を支援
- 新** 農林水産業や地域の祭りのお手伝いをきっかけにした企業と地域との関係づくり、地域で活躍する人々のネットワーク形成
- 津駅周辺の賑わいの創出等を図るため、津駅東口通りの歩道空間拡張の計画を具体化

産業界最大の懸案に、さまざまな観点からきめ細かな対応を

2024年問題  
(労働法制の変化)

労働力人口の減少

産業構造の変化に伴う  
人材のミスマッチ

## <担い手の確保>

### > 人口還流をめざした取組

- 新 県外在住の転職潜在層への「三重県で暮らし、働く魅力」の発信
- 新 自社の事業分野における専門的な知識等を有する人材をU・Iターンにより確保しようとする中小企業を支援
- 新 転職希望者等を対象に加えた相談会や県独自フェアを開催、企業と連携した三重での暮らし体験を実施、お試し住宅の整備に取り組む市町を支援
- 新 県内居住や県内産業への就業等、一定の条件を満たした場合に奨学金返還額の一部を支援する制度を充実、県内企業の代理返還の取組と併せたPR
- 新 アドバイザーを県内企業に派遣し、採用活動や広報手法に関する助言指導を行い、企業の採用力を向上

### > 各業種における人材確保

- 新 県出身の県外勤務医師や県内の地域医療リーダーを活用した情報発信等により医師確保を推進。薬剤師や看護職員についても、人材確保に向けた情報発信を強化
- 保育士・保育所支援センターの運営や保育士をめざす学生への修学資金の貸付等により、保育士確保を推進
- 新 観光事業者特化型の就職説明会の開催、観光産業の魅力発信等により、観光産業の人材確保を支援
- 新 農業従事者の確保に向け、就農希望者の提案事業に対する農地貸付、新規就農者の経営の早期確立の支援
- 林業従事者の確保に向け、就業相談会等の開催、就業希望者と林業事業者のマッチング支援
- 漁業就業等に関するポータルサイト「みえ漁師Seeds」による情報発信
- 新 高校生の土木関係資格の取得支援、県内建設業の魅力発信
- 新 交通事業者の運転士確保への取組を支援
- 新 教職に就いていない教員免許状所有者等を対象に、教職の魅力を発信

### > 外国人雇用の促進

- 新 高度外国人材の採用をめざし、海外において合同面接会を開催し現地の大学生等と県内企業とのマッチング機会を創出
- 外国人求職者に対して、就職支援セミナー、企業見学会、就業体験等を通じて県内企業とのマッチング機会を創出

### > 女性に選ばれるための取組

- 新 就活を始める県出身の女子学生等を対象に、県内企業の調べ方等のセミナーを三重テラスで開催
- 新 県内外の女性求職者等を対象に「三重で楽しみ、働く魅力」をPRするとともに、一人ひとりのニーズに合わせた就職支援を実施

## <生産性の向上>

### > 中小企業におけるDX支援

- 新 専門家の支援によるDX促進モデルを共有し、企業のDX推進を支援

### > 各業種における新技術の導入支援

- 新 建設業のバックオフィスのDX化を促進するため、相談員を配置した説明会とコンサルティング支援を実施
- へき地における医療提供体制を確保するため、オンライン診療の導入を進める市町等を支援
- 新 県内すべての医療機関を包括する地域医療連携DX基盤の構築を支援
- 新 希少がん等の正確な病理診断を迅速に実施するため、遠隔での診断支援を可能とするための設備整備を支援
- 新 「介護生産性向上総合相談センター(仮称)」を設置し、介護ロボット・ICTの導入支援、経営面での相談対応等を実施

- 新 人材確保対策の総合的な情報発信、人材確保策の調査・検討(人材確保につながるリスクリングや外国人雇用の促進等)

## <多様な人材の就労支援>

### > 働きやすい職場の実現に向けた企業等の取組促進

- 新 企業のトップやリーダー層の意識啓発、働く女性のロールモデルとの交流会等を実施
- 新 企業での育児休業取得が促進され、男性の育児参画が進むよう、優良事例について表彰を行うとともに、広く情報発信
- 新 男女がともに働きやすい職場づくり・男性育休取得促進等に取り組む企業向け奨励金の創設
- 新 障がい者雇用の経験の少ない企業に対し、業務切り出しや受入環境整備など伴走支援を実施
- 新 社会保険労務士などの専門家派遣により、漁業現場の就労環境を改善
- 新 観光事業者の生産性向上に向けたコンサルティングを行い経営力の向上や働きやすい職場づくりを支援
- 新 アドバイザーを派遣し、外国人材や高齢者などの多様な人材の受入れや定着支援を行う企業に対する助言・指導を実施
- 新 特定技能外国人を中心とした外国人介護人材の受入れを促進するため、制度等に関する説明会を開催

### > 就労を希望する人材への支援

- 若者・子育て世代にとって魅力のある働く場づくりや県内企業とのマッチング等を支援
- 女性の就職に関する不安や悩みの軽減に向けた女性専用窓口による相談等を実施

## <リスクリングの促進>

### > 生産性向上に向けたリスクリング

- 新 中小企業のデジタル化を加速するため、リスクリング事業を実施し、DX人材を育成
- 産学官金で連携した取組を進める「リカレント教育プラットフォームみえ」に参画し、県内のリカレント教育を促進
- 「みえ農業版MBA養成塾」において、質の高い研修プログラムで若き農業ビジネス人材を育成
- 新 スマート林業の現場実装の加速化に向け、林業事業者において中心的な役割を果たす技能者の育成

### > リスクリングによる専門性向上

- 新 専門性の高い看護職員を確保・育成するため、特定行為研修の受講を促進
- 新 薬剤師の育成プログラムを策定し、県内就業促進や地域・職域偏在の解消、資質向上を目的とする奨学金返還助成制度を構築
- 「みえ森林・林業アカデミー」において、専門的、実践的な知識や技術を学べる講座の運営
- 新 2、3年目の学校管理職等を対象に時代や社会の変化に対応したマネジメント研修を実施

### > 産業界が求める人材の育成

- 津高等技術学校でデジタル技術を含む産業界のニーズの高い職業訓練を実施
- 「みえ半導体ネットワーク」を運営し、産学官連携により人材育成や企業の操業支援を実施

## <副業・兼業の活用>

- 新 中小企業が、首都圏等の都市部に勤務するDX人材等の副業・兼業人材を活用する取組を支援
- 中小企業の課題解決のため、プロフェッショナル人材とのマッチングを支援
- 新 南部地域における副業としての農林水産業の促進

令和6年能登半島地震で大きな被害を受けた石川県は、南北に長く半島を有するなど、三重県と地理的条件が類似していることから、被災地の支援活動や調査を通じて得られる気づきを本県の防災・減災対策に活かし、近い将来の発生が危惧されている南海トラフ地震に備えるための取組を強化する。

## 課題の把握と 県の防災・減災施策の検証

- 新 能登半島地震の被災地の支援活動や調査を通じて得られる気づきも踏まえ、県の防災・減災対策について検証



## 適切な避難行動の促進

### 〔課題1〕 短時間で襲来する津波からの避難

- 新 南海トラフ地震被害想定の見直しを実施
- 新 三重県防災アプリを開発して防災気象情報や避難所情報を発信
- 拡 津波避難タワー等の整備を加速



津波避難タワー（志摩市）

### 〔課題2〕 避難所の環境整備

- 新 指定避難所に停電時でも使用可能な空調設備を整備する市町を支援



## 命を守り、救助・救援につなぐ環境の整備

### 〔課題3〕 倒壊により緊急輸送道路を閉塞するおそれがある建築物の耐震化

- 緊急輸送道路の沿道建築物や、昭和56年以前に着工された木造住宅に対する耐震診断、耐震補強設計、耐震工事への支援



### 〔課題4〕 救助・救援活動を支えるインフラの強靱化

- 緊急輸送道路をはじめとする道路や河川、砂防、海岸などインフラの耐震化、老朽化対策を推進
- 市街地の緊急輸送道路において電線類の地中化など無電柱化を推進

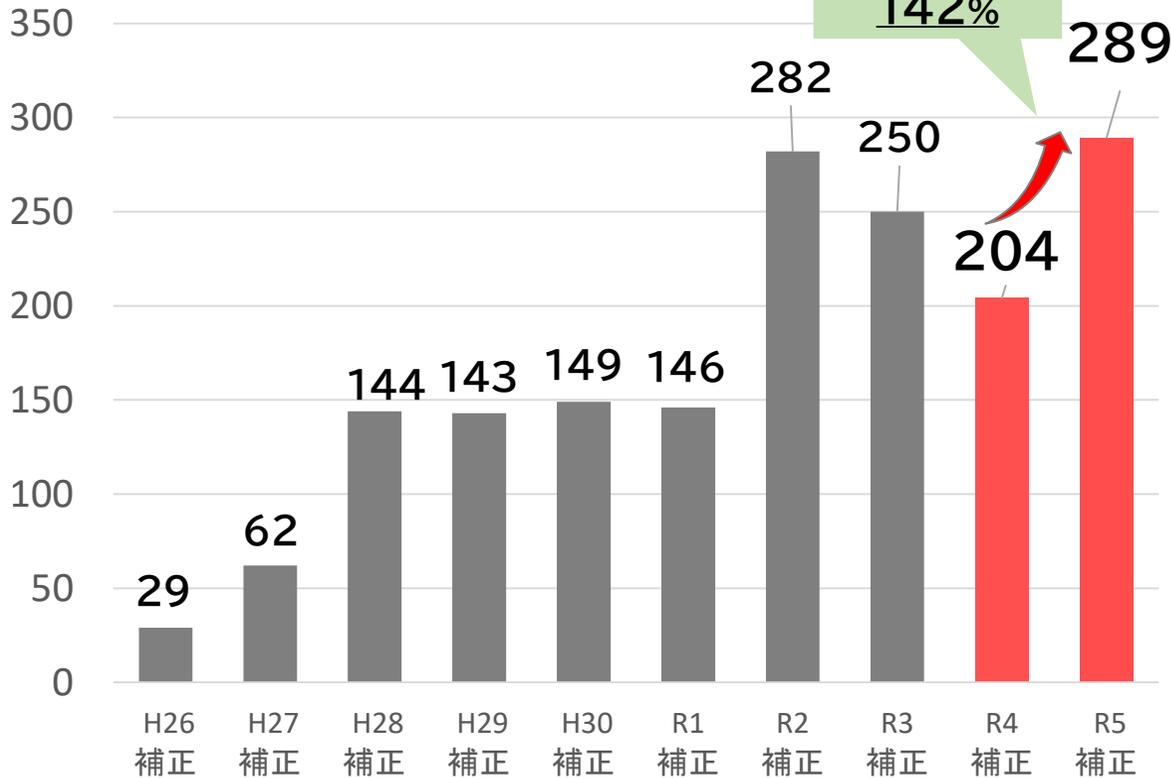


# 公共事業予算の確保について

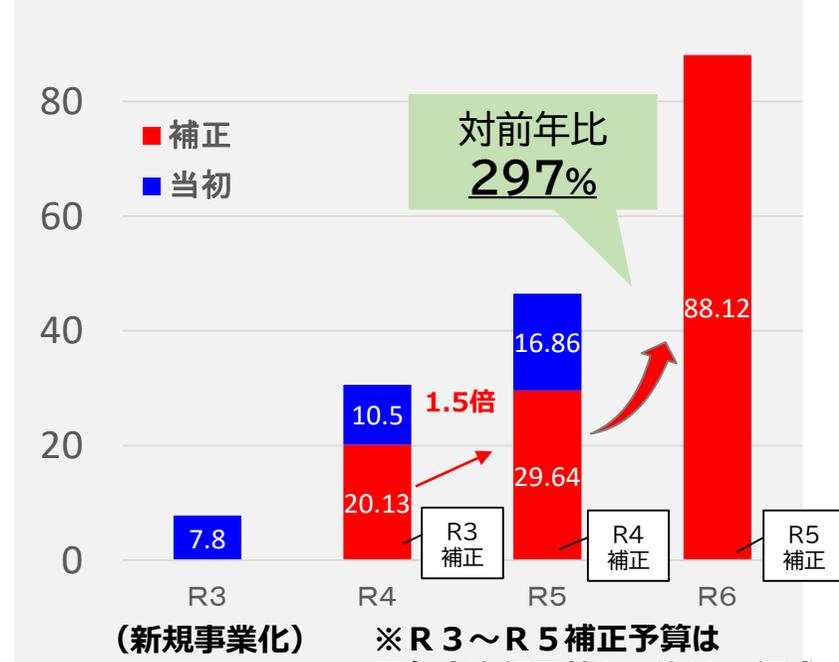
公共事業費(一般会計)  
補正予算内示額の推移  
(国補事業+直轄事業の合算)

四日市港霞ヶ浦地区  
国際物流ターミナル整備事業  
予算配分の推移

単位：億円



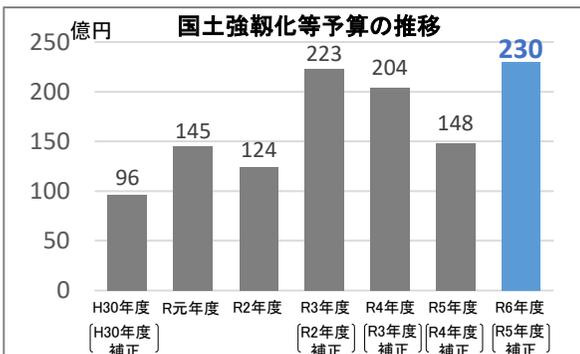
単位：億円



# 1 強靱な県土づくりの強力な推進 ～国土強靱化等予算の確保による完成見通しの前倒し～

県土整備部  
 県土整備総務課 電話2762  
 道路建設課 電話2630  
 防災砂防課 電話2697

○国土強靱化等予算としては過去最大となる230億円を確保し、完成見通しを前倒しするなど強靱な県土づくりを加速



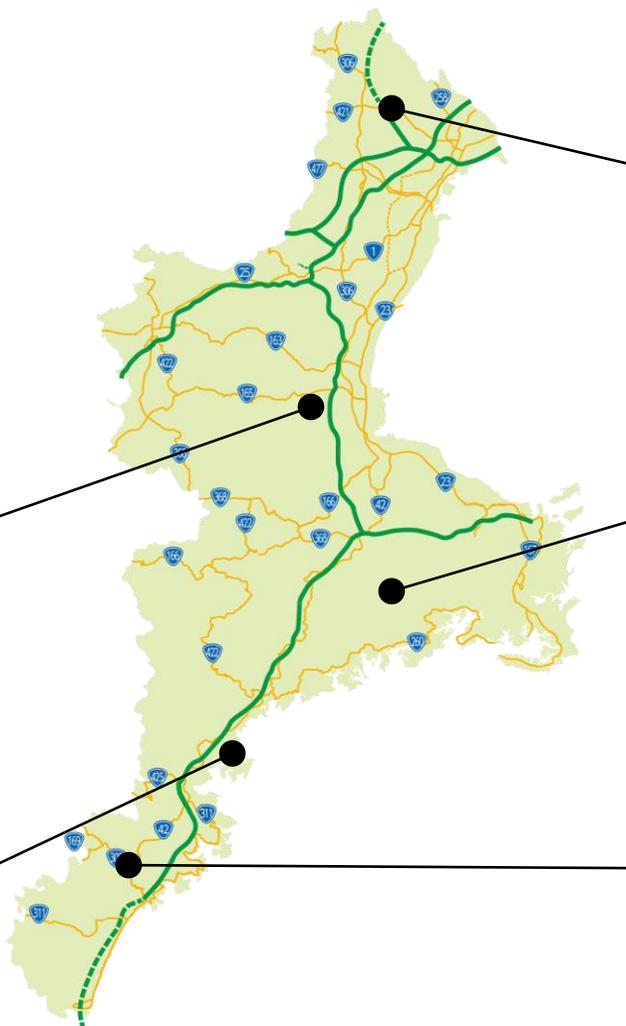
一般県道一志出家線(中川原橋)道路改良事業(津市)

令和6年度末開通を令和6年内開通に前倒し



一般県道 矢口浦上里線 道路改良事業(紀北町)

令和6年度末開通を令和6年内開通に前倒し



国道421号大安にアクセス道路事業(いなべ市)

令和6年度末開通を令和6年内開通に前倒し



主要地方道 伊勢南島線 道路改良事業(度会町)

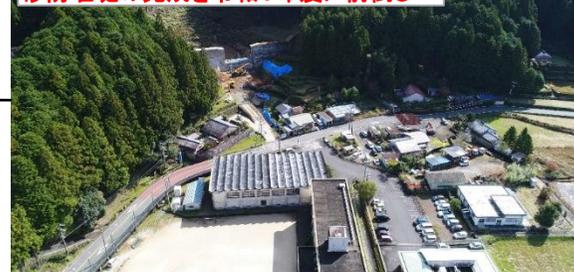
冠水対策の完成を令和6年度に前倒し



完成イメージ

一級水系新宮川水系雨東谷 通常砂防事業(熊野市)

砂防堰堤の完成を令和6年度に前倒し



県土整備部令和6年度当初予算のポイント・主要事業より抜粋